



奥村あきこ レポート



日本共産党中央区議会議員
奥村あきこ事務所 中央区月島1-24-2
電話03-3531-7136
中央地区委員会 電話03-3551-6820

ブログもご覧ください

『奥村あきこ 中央区』で検索！

1万人規模の 「審査請求」運動へ

生活保護費引き下げNO！

戦後最大の生活保護費引き下げ

「生存権奪うな」…9月中旬をメドに全国で審査請求を

安倍政権により、8月1日から生活保護基準の引き下げがはじまりました。

生活保護世帯の生活費を決める「生活扶助基準」。今回の引き下げ幅は、3年で平均6.5%と、生活保護制度発足以来、前代未聞の引き下げです。

「これ以上何を

節約すればいいのか」

世帯によっては最大10%の引き下げとなり、とりわけ子育て世帯などへの影響は深刻です。保護世帯全体の96%が引き下げられます。

「どうして苦しい人からお金を持っていくのか、消費税増も強行されそうなのに…」 「食料品が値上がりしているなかで、

これ以上切り詰められない」など、受給者からは怒りと不安の声がわきあがっています。

就学援助、最低賃金など

様々な制度に影響

生活扶助基準の引き下げは、受給者だけの問題ではありません。生活保護費を目安として算定されている様々な制度に影響を与える危険もあります。

▼就学援助が利用できない▼最低賃金が上がらない▼住民税が課税される、など少なくとも40近くの制度にかかわります。住民税が非課税から課税になると、医療・介護の保険料、保育料などの負担にもつながります。



審査請求とは？

⇒生活保護費の減額を知ってから（保護費の決定通知書が届いてから）60日以内に、都道府県知事に対して、減額を取り消すよう不服申し立てができます。書面のやりとりや口頭での意見陳述をして、知事は申立から50日以内に裁決を出します。裁決に不服があれば厚生労働大臣に再審査請求ができます。

通知が届いて2ヶ月が勝負

減額を取り消すよう

審査請求への参加を広げて

今、「全国生活と健康を守る会連合会」「生活保護問題対策全国会議」「反貧困ネットワーク」等、貧困問題に取り組む支援団体が、行政に不服を申立てる1万人規模の審査請求運動を呼びかけ、全国に広がっています。請求期限の9月中旬をヤマ場として審査請求を行う方針です。

詳細は「東京都生活と健康を守る

会連合会」(5960)0266

へ「連絡ください。」

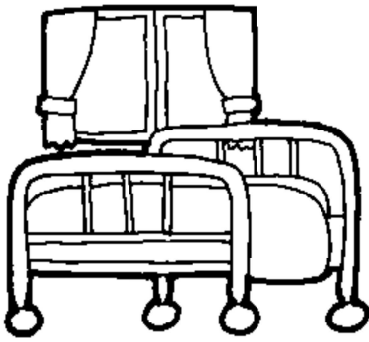
地域密着型特養ホーム

「ケアポートつきしま」

8月19日～申込開始

中央区では、特別養護老人ホームの待機者が常時300人前後おり、施設不足が深刻です。

日本橋地域でも十思スクエアに特養ホームが建設中ですが、月島地域では月島1丁目サマリア病院跡地に11月開設予定の「ケアポートつきしま」の入所申込受付が8月19日から始まります。締め切りは9月14日です。定員は29名で、対象は要介護



1以上で在宅での介護が困難な方となります。

申込書配布場所は

・中央区役所4階介護保険課

・月島おとしより相談センターなどです。詳しくは、区の介護保険課（3546）5379にお問合せください。

8月6日 高島屋前にて

核兵器廃絶のうったえ

国際NGO団体の「新日本婦人の会」中央支部の方々と一緒に、日本橋高島屋前で「核兵器全面禁止のアピール」署名への協力をうったえました。

1945年8月6日、9日、広島と長崎に落とされた原爆は一瞬のうちに2つの町を廃墟に変え、21万の人びとの命を奪いました。いまなお20万を超える被爆者が苦しんでいます。この



8月6日、日本橋高島屋前で。左が私（奥村）

悲劇をいかなる地にもくり返してはなりません。

いま核兵器の廃絶を求める声は世界にひろがっています。多くの国で市民が行動し、政府がその実現を支持しています。ヒロシマ・ナガサキをくり返させないもつとも確かな保証は核兵器を全面的に禁止し、廃絶することです。

2010年5月にニューヨークの国連本部で開かれた核不拡散条約（NPT）再検討会議では、核保有国を含む189の国々

9月の委員会日程

| | |
|----------|------------------------|
| 9/5 (木) | 13:30～企画総務委員会 |
| 9/9 (月) | 13:30～区民文教委員会 |
| 9/10 (火) | 13:30～環境建設委員会 |
| 9/11 (水) | 13:30～福祉保健委員会 |
| 9/12 (木) | 13:30～築地市場等街づくり対策特別委員会 |
| 9/13 (金) | 13:30～地域活性化対策特別委員会 |
| 9/17 (火) | 13:30～少子高齢化対策特別委員会 |
| 9/18 (水) | 13:30～防災等安全対策特別委員会 |

傍聴に気軽に足をお運びください。

が「核兵器のない世界の平和と安全を達成する」ことを決めました。いま、それを実行に移すときです。

この国際署名は、2015年開催のNPT再検討会議まで、国連総会にそのつど提出していきます。

署名用紙は原水爆禁止日本協議会（日本原水協）のホームページよりダウンロードできます。